

なかばの浜（三輪崎海水浴場）クリーン作戦

7月2日（日）



硬式野球部員23名が、なかばの浜（三輪崎海水浴場）の清掃活動に参加した。柴田部長は「夏の大会を10日後に控えてはいるが、日頃より応援くださる地元住民の一大行事ということで、全員で参加を決めた。練習での汗と、また違ったさわやかな汗を流すことで、野球をする上でも、選手を一回りも二回りも大きく成長させてくれたと思う。また、想像以上に多くの人に支えられて野球ができていることに今更ながら気づくこともできた。この貴重な経験が、夏の大会でのここ一番の大事な場面で、きつと生きてくるものと確信している。」と熱く語った。

本校は大会初日13日（木）の第2試合に星林高校と対戦する。星林高校とは昨年夏の2回戦9対5で圧勝したが、本年度春季近畿大会和歌山予選では1対9で敗れている。昨年夏からの公式戦5大会で、3度目となる因縁の対戦となった。

城澤主将は「全校生徒、保護者、職員、同窓生はじめ地元住民の多くの方々が新翔野球部を応援してくれています。その全ての応援を力にして、まず初戦の星林戦で今春の雪辱を果たしたいです。そして昨年度の2勝以上のベスト8を目標に一戦一戦全力プレーをします。」と意気込みを語った。